

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

東

上場会社名 株式会社クロスキャット 上場取引所
 コード番号 2307 URL <https://www.xcat.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 貴功
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山下 智己 (TEL) 03-3474-5251
 経営財務統括部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,960	23.7	803	81.6	827	75.1	526	71.1
2022年3月期第2四半期	5,626	30.8	442	238.4	472	216.8	307	232.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 525百万円(37.1%) 2022年3月期第2四半期 383百万円(△6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	35.05	—
2022年3月期第2四半期	20.50	—

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,199	4,525	62.9
2022年3月期	7,365	4,219	57.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,525百万円 2022年3月期 4,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。「2022年3月期」については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。「2023年3月期」及び「2023年3月期(予想)」については、株式分割後の数値を記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	4.8	1,150	3.6	1,190	1.6	770	0.6	51.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	17,005,674株	2022年3月期	18,421,920株
2023年3月期2Q	1,978,800株	2022年3月期	3,416,246株
2023年3月期2Q	15,011,814株	2022年3月期2Q	15,005,674株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）2022年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間(2022年4月～2022年9月)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る各種行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化に向けた動きがみられた一方、不安定な国際情勢に伴う原材料や燃料価格の高騰、急速な円安の進行などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、引き続き、クラウドコンピューティング、AI、IoT、ビッグデータ、RPAなどの先端技術を活用した「DX(デジタルトランスフォーメーション)」推進の動きが活発化しており、企業の競争力強化のためのIT投資意欲が拡大すると見られています。

このような事業環境下、当社グループは、2021年4月から2024年3月における中期経営計画「Impress with customers 2023」に基づき、社会課題解決型ビジネスに取り組むIT企業グループを目指しております。社会課題解決と経済成長を両立する社会「Society5.0」の実現に向け取り組むことで、SDGsの達成に貢献してまいります。持続的な事業成長を実現するため、4つの基本戦略「コア事業の拡大」、「先端技術の活用」、「新規領域への取り組み」、「グループ経営基盤の強化」を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、クレジット、金融、官公庁及び製造向けが牽引し、6,960百万円(前年同期比23.7%増)と前年同期を大きく上回りました。

利益面では、前年同期比で原価率が1.7ポイント、販管費率が2.0ポイントそれぞれ改善し、営業利益は803百万円(前年同期比81.6%増)、経常利益は827百万円(前年同期比75.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は526百万円(前年同期比71.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ166百万円減少し、7,199百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,329百万円、受取手形、売掛金及び契約資産3,482百万円、投資有価証券975百万円であります。

負債につきましては、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ471百万円減少し、2,674百万円となりました。その主な内訳は、買掛金491百万円、退職給付に係る負債618百万円であります。

純資産につきましては、自己株式の減少等により前連結会計年度末に比べ305百万円増加し、4,525百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,000百万円、利益剰余金3,642百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.6ポイント上昇し62.9%となりました。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して15百万円減少して、1,329百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、485百万円(前年同期は508百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益826百万円、売上債権の減少1,216百万円等による資金の増加があったことに対し、契約資産の増加941百万円、法人税等の支払額384百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、61百万円(前年同期は18百万円の使用)となりました。これは主に、パソコン等の有形固定資産の取得による支出26百万円、敷金及び保証金の差入による支出22百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、440百万円(前年同期は565百万円の使用)となりました。これは、短期借入金の返済による支出200百万円、配当金の支払額240百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点において、今後の経済情勢等の市況に与える影響が不透明であることから、2022年5月12日に「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました数値を据え置くことといたします。なお、今後、通期連結業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,345,143	1,329,237
受取手形、売掛金及び契約資産	3,757,916	3,482,957
その他	101,144	150,438
貸倒引当金	△3,847	△3,468
流動資産合計	5,200,357	4,959,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	330,349	426,071
減価償却累計額	△201,702	△195,647
建物及び構築物(純額)	128,646	230,423
工具、器具及び備品	252,824	266,600
減価償却累計額	△197,036	△202,594
工具、器具及び備品(純額)	55,788	64,005
リース資産	19,708	19,708
減価償却累計額	△7,038	△8,446
リース資産(純額)	12,670	11,262
土地	30,877	30,877
その他	1,500	1,500
減価償却累計額	△1,499	△1,499
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	227,982	336,568
無形固定資産		
のれん	282,748	249,423
顧客関連資産	44,785	40,714
ソフトウェア	124,613	133,694
その他	4,321	4,262
無形固定資産合計	456,469	428,095
投資その他の資産		
投資有価証券	974,148	975,835
繰延税金資産	135,259	119,213
敷金及び保証金	246,243	254,653
その他	125,133	125,644
投資その他の資産合計	1,480,786	1,475,346
固定資産合計	2,165,238	2,240,010
資産合計	7,365,596	7,199,176

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	511,467	491,911
契約負債	75,902	64,095
短期借入金	400,000	200,000
リース債務	3,097	3,097
未払法人税等	395,589	265,653
賞与引当金	322,194	298,749
受注損失引当金	10,709	1,191
資産除去債務	6,600	-
その他	623,251	413,534
流動負債合計	2,348,812	1,738,232
固定負債		
リース債務	10,839	9,291
繰延税金負債	53,111	78,577
退職給付に係る負債	608,073	618,438
資産除去債務	82,633	187,680
その他	42,310	41,947
固定負債合計	796,968	935,935
負債合計	3,145,780	2,674,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
利益剰余金	3,783,485	3,642,254
自己株式	△1,062,090	△615,196
株主資本合計	3,721,395	4,027,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	508,998	510,168
退職給付に係る調整累計額	△10,578	△12,216
その他の包括利益累計額合計	498,420	497,951
純資産合計	4,219,815	4,525,008
負債純資産合計	7,365,596	7,199,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,626,348	6,960,229
売上原価	4,353,727	5,269,131
売上総利益	1,272,621	1,691,098
販売費及び一般管理費	830,163	887,425
営業利益	442,457	803,673
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	12,018	14,740
助成金収入	13,213	3,702
その他	6,237	5,896
営業外収益合計	31,476	24,345
営業外費用		
支払利息	1,114	199
営業外費用合計	1,114	199
経常利益	472,819	827,818
特別損失		
固定資産除却損	-	1,209
特別損失合計	-	1,209
税金等調整前四半期純利益	472,819	826,609
法人税、住民税及び事業税	186,051	260,787
法人税等調整額	△20,774	39,657
法人税等合計	165,277	300,444
四半期純利益	307,541	526,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	307,541	526,164

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	307,541	526,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,026	1,169
退職給付に係る調整額	△2,215	△1,638
その他の包括利益合計	75,811	△468
四半期包括利益	383,353	525,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	383,353	525,696
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	472,819	826,609
減価償却費	50,483	52,790
のれん償却額	41,707	33,324
株式報酬費用	-	5,421
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△52	△379
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,747	△23,444
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,481	8,004
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1,449	△9,518
受取利息及び受取配当金	△12,025	△14,747
支払利息	1,114	199
固定資産除却損	-	1,209
契約資産の増減額(△は増加)	△883,637	△941,370
売上債権の増減額(△は増加)	944,340	1,216,330
棚卸資産の増減額(△は増加)	57,419	3,573
仕入債務の増減額(△は減少)	49,455	△19,556
その他	△136,960	△283,107
小計	638,342	855,340
利息及び配当金の受取額	12,025	14,747
利息の支払額	△1,037	△271
法人税等の支払額	△141,050	△384,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,278	485,408
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,036	△26,825
無形固定資産の取得による支出	△7,922	△19,608
敷金及び保証金の差入による支出	△2,270	△22,358
敷金及び保証金の回収による収入	120	13,948
資産除去債務の履行による支出	-	△6,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,109	△61,222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	△200,000
配当金の支払額	△165,062	△240,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△565,062	△440,090
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74,893	△15,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,264,359	1,345,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,189,466	1,329,237

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年3月16日開催の取締役会決議に基づき、2022年4月4日付で、自己株式1,416,246株の消却を実施しました。また、2022年7月21日開催の取締役会決議に基づき、2022年8月9日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式21,200株の処分を実施しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が425,206千円、自己株式が446,893千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が3,642,254千円、自己株式が615,196千円となっております。